

# クールジャパン人材育成に関する 文化庁の取組について

---



平成29年10月3日（火）  
クールジャパン関係府省連絡・連携会議・  
クールジャパン人材育成政府連絡会合同会合  
文化庁発表資料

# クールジャパン人材育成のための文化庁における取組

## 新進芸術家の人材育成等

### ◆新進芸術家グローバル人材の育成

・若手芸術家や演出家、舞台技術者、アートマネジメント人材など、我が国のこれからの文化芸術を担う人材を育成する観点から、実践的かつ高度な技術・知識を習得するための研修機会(公演・展覧会、ワークショップ等)等を提供することにより、文化芸術を支えるグローバル人材の育成を図る。

### ◆新進芸術家の海外研修

・美術、音楽、舞踊等の各分野の新進芸術家に対して、海外の大学や芸術団体等における実践的な研修の場を提供する。

### ◆文化交流使の派遣

・諸外国における日本文化への理解及び我が国と諸外国の芸術家・文化人等の連携協力を目的として、日本の芸術家・文化人を、「文化交流使」として、1つもしくは複数国に一定期間(1ヶ月～1年間)派遣している。平成15年度から27年度まで、のべ128名と26団体の文化交流使が世界81カ国に派遣されている。

## 若手映画作家等の育成

### ◆短編映画作品支援による若手映画作家の育成

・若手映画作家に対して、本格的な映画製作のワークショップ等で学んだ技術や知識を、実際の短編映画作品の制作を通して実践する場を与え、若手映画作家が世に出る機会を応援する。

### ◆映画関係団体等の人材育成事業の支援

・映画製作の各過程を担う専門性の高い人材を育成するため、大学・専門学校等と映画関係団体等との連携の下に行われる制作現場における学生の実習(インターンシップ)受入れを支援する。

## メディア芸術の人材育成

### ◆文化庁メディア芸術祭等の実施

・アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルとして、「文化庁メディア芸術祭」を実施。また、メディア芸術を含む11の分野において、優れた業績を上げた者を、芸術選奨として顕彰。

### ◆メディア芸術クリエイターや若手アニメーターの育成

・若手クリエイターが行うメディア芸術作品の創作活動を支援するほか、アニメ制作スタッフに若手人材を積極的に起用し、製作段階でオン・ザ・ジョブ・トレーニングを組み込んだアニメーション制作の実施を支援。



文化庁メディア芸術祭

メディア芸術は広く国民に親しまれ、新たな芸術の創造や我が国の芸術全体の活性化を促すとともに、海外から高く評価され、我が国への理解や関心を高めている。  
また、メディア芸術は、我が国の文化振興はもとより、コンテンツ産業、観光、国際文化交流にも資するもの。

メディア芸術の一層の振興のため、「創造・発信支援」と「人材育成支援」を充実

創造・発信支援  
1,102百万円(861百万円)

メディア芸術グローバル展開事業【新規】  
606百万円(0百万円)

メディア芸術総合フェスティバル

・メディア芸術の国際的な総合フェスティバルとして、国内外の優れた作品を顕彰し、受賞作品展を開催  
・我が国のメディア芸術の発信力をより強化するためフェスティバルディレクターを立て新たに企画展を開催

メディア芸術海外展開事業

・海外のメディア芸術関係フェスティバルにおける展示・上映の実施  
・海外において我が国のメディア芸術を戦略的に発信するため展覧会を開催

メディア芸術祭地方展

・地方において優れたメディア芸術作品の鑑賞機会を提供するため、総合的な展示・上映等を行う展覧会を開催

メディア芸術連携促進等事業

367百万円(367百万円)

・作品の所在情報等(データベース)の運用・活用  
・各研究機関等におけるアーカイブ化に係る取組みへの支援による相互連携  
・連携共同事業等(新領域創出、調査研究等)について、産・学・館(官)の連携・協力による実施

アニメーション映画製作支援

129百万円(119百万円)

・我が国の優れたアニメーション映画の製作活動に対する支援。(16作品)  
・字幕・音声ガイド制作(バリアフリー-映画10作品)  
・外国語字幕制作(10作品)【拡充】

人材育成支援  
272百万円(232百万円)

メディア芸術人材育成等支援事業

272百万円(232百万円)

メディア芸術クリエイター育成支援事業

62百万円(22百万円)

・若手クリエイターが行うメディア芸術作品の創作活動を支援【拡充】  
・団体の創作活動に対する支援【新規】  
・クリエイターの新たな作品発表の場の創出や、文化による産業振興の推進を図るため、業界関係者との交流イベントを開催【新規】

若手アニメーター等人材育成事業

210百万円(210百万円)

・制作スタッフに若手人材を起用し、制作段階でオン・ザ・ジョブ・トレーニング(OJT)を組み込んだ実際のアニメーション制作現場における人材育成を実施

○ 芸術家、文化人等を「文化交流使」に指名、世界の人々への日本文化への理解の深化、日本と諸外国における文化人のネットワークの形成・強化につながる活動を展開

日本の芸術家、文化人が一つもしくは複数の国に一定期間滞在し、日本の文化に関する講演、講習や実演デモンストレーション等を行う。

平成15年度から28年度までに、のべ128名と26団体の文化交流使が、世界81か国で活動を行った。

	氏名	プロフィール		氏名	プロフィール
平成28年度	佐藤 可土和	クリエイティブディレクター、株式会社サムライ代表取締役	平成29年度	大友 良英	音楽家
	佐野 文彦	建築家、美術家		鈴木 康広	メディアアーティスト、武蔵野美術大学准教授、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員
	土佐 尚子	アーティスト、京都大学教授		種田 道一	金剛流能楽師
	藤間 蘭黄	日本舞踊家		本條 秀慈郎	三味線演奏家
	柳家 さん喬	落語家		増田 セバスチャン	アートディレクター、アーティスト
	山田 うん	振付家、ダンサー			

## 文化交流使サポートスタッフ(技術スタッフ、広報・記録スタッフ等)の新設

- ・現地での活動を記録し、SNS等を活用したリアルタイムな情報の発信等、発信力の強化に向けた体制を構築。
- ・文化交流使が現地での活動そのものに注力できるよう、サポートスタッフを同行させるための旅費・活動経費・滞在費を計上。

